

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くまもと学院・放課後クラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月25日	～	令和8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	令和7年12月25日	～	令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性に応じた療育の充実を図っていること。	利用者の特性に応じた個別支援計画を丁寧に作成している。	個別支援計画の成果指標を設定し支援の質の向上を目指す。
2	利用者の安心・安全・楽しくをモットーとしていること。	職員間での情報共有を図り支援の質の向上を目指している。	職員研修の体系化を進め、さらなる専門性向上を目指す。
3	法令遵守の療育の実施していること。	利用者及び保護者の信頼得る療育の充実を目指している。	定期的モニタリングを通してさらなる療育の受実を目指す。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	書類作成や記録業務に圧迫されることがある。	効率的な記録業務のさらなる工夫が必要なこと。	ICTツールの導入や記録様式の見直しにより効率化を図る。
2	職員の計画的な研修が十分でないことがある。	利用者の支援に追われ計画的な研修が十分でないこと。	OJTマニュアルを整備し、支援プロセスを標準化する。
3	関係機関との情報共有が十分でないことがある。	関係機関との情報共有の会議が支援と重なる時があること。	計画的な関係機関との会議等への参加体制を工夫する。